

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	会計課	会計担当	内線	1102
----	-----	------	----	------

事業コード		事務事業名	会計審査事務事業	
根拠法令等	地方自治法、蒲都市予算決算会計規則		A法令	C規則

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

その他	その他
-----	-----

事務事業の内容

対象	支出命令された調書等について
手段	迅速かつ適確な審査を実施し
想定する成果	公金支出の適正さを確保する

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
支出調書等の審査件数	54,223件	53,815件	54,000件

目標値

成果指標名	適正審査件数
成果指標の説明	支出調書等の適正な審査件数

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画	-	-	54,000件
	実績	54,223件	53,815件	-
事業費	事業費	65,656円	98,841円	149,371円
	人件費	6,857,600円	6,686,400円	6,797,600円
	(人数)	0.8	0.8	0.8
	合計	6,923,256円	6,785,241円	6,946,971円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,923,256円	6,785,241円	6,946,971円

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	6	6	支出調書等の単純なミスを防止するために、各課のチェック体制及び審査担当の資質の向上を図るべきである。
効率性	6	6	会計事務の複雑、多様化に伴い、会計事務処理も大変であるが、職員の個別指導及び、フォーラムにより指摘事項を周知し、審査時間の短縮、効率化を図るべきである。
公共性	10	10	
緊急度	10	10	
小計	32	32	
市民参加度			
合計	32	32	
総合評価	B	B	法令、規則に基づき適正な会計事務処理の体制を確保し、適正な審査事務をするために審査担当の資質の向上及び、各課庶務担当者の会計事務研修の充実を図る必要がある。

これまでに実施した改善点

達成度	新人や会計事務に不慣れな職員には、呼び出して個別に指導をしたり、審査での指摘事項や会計事務の留意点をフォーラムに掲載した。
効率性	
公共性	
緊急度	
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	職員の財務会計事務研修の実施及び、審査担当の資質の向上を図る。
効率性	財務会計システムの見直し。
公共性	
緊急度	
市民参加度	